



サラリーマンから経営者へ 〈未経験二代目の挑戦〉

## 嬭恋村のログコテージ、 5年間で250%の売上増！

株式会社群馬マーケ  
ティングセンター  
群馬企画塾  
取締役 沼澤啓吾  
(群馬県高崎市)

群馬県吾妻郡嬭恋村にある「ログコテージふりーたいむ」様は、浅間山麓の雄大な自然の中、1万5000㎡の敷地に前オーナーが建設した本格的なログハウスが7棟ある貸別荘業として平成9年7月に創業されました。「ふりーたいむ」様の施設の特徴は周囲100㎡圏内に建物が無いことです。そのため、他の別荘地に比べるとうかなり開放的な空間で、バーベキューや石窯を利用したパン・ピザづくりや、そば打ち、自家製菜園での収穫、ドラム缶風呂など様々なアウトドアの体験をしていただけます。

### 観光地としての現状

しかし近年、宿泊ニーズの多様化により、景色がいい、環境がいい、場所がいいだけでは他の宿泊施設との差別化が図れず、集客が難しくなっています。

また、嬭恋村の観光地としてのブランド力低下により、嬭恋村への旅行客数は、10年前から比べるとおよそ年間20万人以上減少しています。近郊の有名観光地である軽井沢や草津温泉に人が流れてしまうため、嬭恋地域にある約100件以上の宿泊施設は、経営難に加え事業主高齢化や後継者不足のため廃業や、開店休業状態の宿泊施設が増加している状況です。

そこで今回、最小限の予算で売上増に取り組みべく「変革（根本的に変える）ではなく、改革（一定の枠組みの中で変えていく）していく」という企画趣旨で3つの売上増加計画に取り組みました。

### 売上増加計画の3つの柱

まず1つ目は、補助金等の国の取り組みへの参加です。具体的には過去5年間のうち、小規模事業者持続化補助金を3回活用しました。

小規模事業者持続化補助金とは、新たな販路開拓に係る費用の2/3（最大50万円）を補助してもらえる事業です。これにより、新たな休憩所の設置、全棟の給湯器の取替え工事、ファミリータイプからミドルタイプへのコテージ改修工事など施設の充実を図りました。

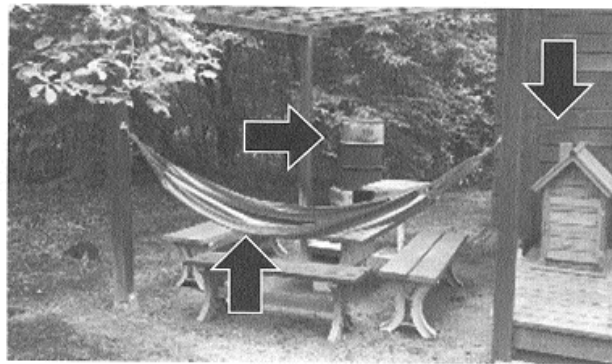
この他にも、平成27年には「中高年を対象とした、健康増進にも役立つ体験型宿泊サービスの提供」をテーマに経営革新計画の承認を受け、群馬県のホームページや広報機関など、県外向けのメディアに掲載されるなど公的機関を上手に活用しています。

### ホームページをリニューアル

2つ目は、ホームページリニューアルです。今までのホームページは、創業当時に制作したものをそのまま使っていたため、施設の特徴や料金表示が分かりづらいものでした。そのため、ホームページのリニューアルにあたり、施設のコンプレックスである「手軽なアウトドア体験を提供」をわかりやすく伝えるため、雄大な自然や



リニューアルしたホームページ  
全棟に設備を充実（ハンモック・ドラム缶風呂・スモーカー）



社 名 ログコテージ ふりーたいむ  
所 在 地 群馬県吾妻郡嬬恋村大前 1572  
T E L 0279-80-6000  
U R L <http://free-time.jp/>

代表取締役 土屋 雄太  
設 立 平成9年7月  
事 業 内 容 貸別荘業

宿泊施設の楽しさが伝わる写真を多く掲載しました。

また、Google アナリティクスを見るとスマホからのアクセスが非常に多い事がわかったため、ターゲットである「首都圏在住の大学生や、若年世代の子連れ夫婦」の利便性を向上するため、スマホ対応のホームページに改善し、あわせてFacebookやツイッターによる情報発信も行えるように仕上げました。

### 思わず使いたくなる有料オプション

3つ目は、これまで共有部分に置いてあった有料オプションのドラム缶風呂やスモーカー、人気のハンモックを全棟に設置することです。これにより、ホテル部屋の冷蔵庫にある飲み物同様、「ついで利用」で単価アップを目指しました。全棟に設置したところ効果はすぐに表れ、利用当日はコテージに到着後「予約はしていないけれど利用できますか」という問い合わせが増加しました。

### 取り組みの成果

この取り組みを始めた平成25年からの売上推移をみると、毎年200〜300万円の売上増となっており、5年間で250%の売上増という結果になりました。

今回、土屋様が取り組まれた内容は、今ある経営資源を徹底的に磨き上げ、「個客」に合わせたサービスを充実させて提供するという、中小企業向けマーケティングであるCTPTマーケティングそのものです。

次の目標である売上目標4000万円の実現に向け、土屋様のさらなるご活躍を楽しみにしています。